

## 第3学年 理数ゼミ・ESD探究 研究発表会

6月22日(水) 5～7限に「理数ゼミ・ESD探究」研究発表会を実施しました。3年のESD探究は、下記のように7つの大テーマ、9つの傘に分かれ、数多くのグループ研究と幾つかの個人研究に、3年間をかけて取り組んできました。

- 傘2 "Engineering"
- 傘3 "Education"
- 傘4 "Motion"
- 傘5 "Ecology & Economy"
- 傘6・7 "Life"
- 傘8・9 "Culture"
- 傘10 "Health"

昨年12月に実施した中間発表会で得た助言などを元に手直しをし、Googleスライドを使用して、今回の最終発表会の研究ポスターを作成しました。全員が発表を1人で行いましたが、これまで自分達が研究してきた内容は完全に頭に入っており、原稿など持たず慣れた様子で発表している姿は自信に溢れ、頼もしさを感じました。マスクを付けての発表は話す側も聴く側も不自由さを感じる部分もありましたが、話者は聞きやすいように抑揚を付けるなどの工夫をして発表をし、聴衆は身を乗り出して聞きながらメモをとるなど、会場が一体となって発表会を作り上げていました。



本年度は、多目的ホールと体育館に分かれて実施しました

理数ゼミの発表では、堂々とした姿で発表を行い、これまでの研究の成果をしっかりと伝えられていました。また、ポスターだけでなく、成果物等を見せながら発表を行っている班もあり、生徒達の意気込みが伝わってきました。この発表会には、理数コース独自の活動である「先端技術体験講座」で昨年度お世話になった九州産業大学の先生方にもお越しいただき、評価していただきました。どの発表も生徒達が仮説、検証を繰り返した試行錯誤の過程が感じられて、非常に良いと評価をいただきました。

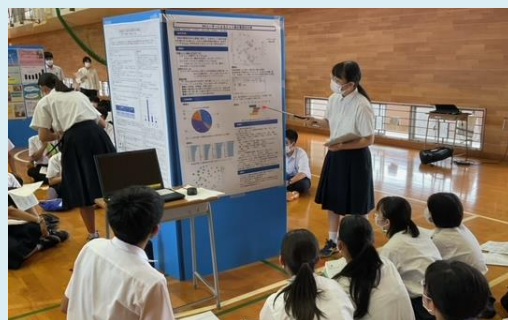
化粧品に含まれる鉄イオンの定量を行った研究では、鉄イオンを定量するために化粧品から目的の物質以外を取り除く前処理が必要であり、身近な物を用いた実験の難しさを痛感したようでした。また、ヒット曲の歌詞分析を行っている班では、この研究を通して、プログラミングの学習を進めていき、最終的には、歌謡曲の歌詞から最近の曲と昔の曲を判別するプログラムを自分達で作成することが出来ました。

生徒の感想には、5分間という限られた時間の中で自分達が行ってきたことを上手に伝える難しさを感じたことや大学の先生方からの助言をいただけたこと、様々な発表を聞いて刺激を受けたことなど多くの学びを得たことが記されていました。

今後は、研究論文の作成と英語によるポスター発表に向けての準備を行っていきます。



大学の先生方からも助言をいただきました



一年生もしっかり参加しています